

ときどき職員室に「おなかが痛いんです…」と来る子供がいる。養護教諭はじめ職員室にいる先生方は「まずトイレ行ってごらん（うんち してきなさい）」という。多くの場合、これで解決する。また、授業中も「おなかが痛いのでトイレ行っていいですか？」という子供いる。つまり、これは「うんち」をしてくるということである。周りの子供は、取り立てて気にする風でもない。

**これは「理想の学校」のひとつの形である。**

私が小・中学生のころ、学校で「うんち」をした記憶がほぼない。「うんち」をしたことがバレると、冷やかされたり、からかわれたりすることが当然のように行われていたから。大便所に誰か入っていると「だれか、うんこしてるぞ〜」なんて言いふらす奴もいた。（私も言ったことがあるし…）これまで勤務してきた学校でも、男子がうんちを我慢してしまいう傾向はよく見られた。

私の出身高校は男子校で「先生、ハラいて一からクソしてきます！」「オウ！」でOKだった。入学当初は、休憩中に先輩方が平気で大便所に入っていたこと、壮大な音を立てていたことが、新鮮な驚きであり、嬉しくもあった。

こういったことを防ぐため、男子トイレも女子トイレ同様、全て個室化する学校も出てきている。一つのアイディアではあるが、「おなかが痛けりゃ、まずトイレに行ってみるか！」と子供が普通に思えることができる学校は、健康ないい学校だと思う。

**「うんこするのは あたりまえ にんげんだもの…」**

あいだみつをさん 尾籠な話に流用してごめんなさい…

